

自閉症・情緒障害特別支援学級 自立活動学習指導案

1 題材 うまくできるかな！「ラッキーコインゲーム」「ボディわなげ」

2 題材について

本学級は4名の児童で構成されている。Aは明るくおしゃべり好きだが、落ち着きがなく話を聞くことが苦手である。また、自己中心的でルールが守れないことや協力して活動できないことが多い。Bは素直で明るいが、語彙・知識が乏しく、コミュニケーションがうまく取れない場面や、話の聞きもらしや聞き間違いも見られることがある。昨年度の2人の様子は、口げんかをする場面が多く見られたようだが、最近ではお互いに思いやる面も見られ、仲良く授業ができるようになってきた。

そこで、本題材では、相手の気持ちや状況を気遣いながら、分かりやすい言葉で指示ができるようにしたいと考えた。「ラッキーコインゲーム」では、目隠しをした友だちに、不規則に置いたコインが踏めるように指示を出しながら導く活動である。〈案内係：分かりやすく伝える、案内される係：指示をよく聞く〉というように二人が協力することでたくさん得点できることを体験させたい。「ボディわなげ」では、フープを取る人はトランポリンに乗り、指示された体の部位でフープを取る活動である。お互いを気遣いながら、左右方向と体の部位を表す言葉を上手に使って、やり遂げることの達成感を味わわせたい。そして、コミュニケーションを上手に取るために、相手の気持ちや状況を考えた言葉の使い方や言葉かけが大切であることに気付かせたい。また、日常生活の中でも自分の考えが人に伝わる喜びを感じ、相手に分かれる正しい言葉遣いで会話することにより、楽しく仲良く生活できるようになってほしいと考え、この題材を設定した。

3 目標

短期個別指導目標		題材における個別指導目標
A	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの整理整頓ができる。 位置や方向を表す言葉を正しく使うことができる。 相手の話を最後まで聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に必要な物の準備・片付けができる。 <5-(5)> 相手の状況をよく見て落ち着いて指示を出したり、指示を最後までよく聞いたりして、協力してゲームに取り組むことができる。 <6-(5)>
B	<ul style="list-style-type: none"> 苦手なことを最後まで頑張る。 相手に分かりやすく伝えることができる。 うなずきながら話を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてをもって課題に取り組むことができる。 <2-(3)> 相手の状況に合った指示をはっきりとした言葉遣いで話したり、指示に対して言葉で反応を示したりして、協力して取り組むことができる。 <6-(5)>

4 児童の実態

実 態	
A	<ul style="list-style-type: none"> 音や声を出して体を動かしていることが多く、指示に従って行動することが難しい。工作など興味のあることには集中できるが、自分のやりたいことを優先してしまい指摘されると素直に聞き入れられないことがある。一斉指導の中では、個別の言葉かけがあれば学習に取りかかれことがある。 学習面では、文章は拾い読みで、漢字は2年生レベルでも読めないことがある。3けた×2けたのかけ算や4けた÷1けたのわり算も時間はかかるができるようになってきた。 生活面では、身の回りの整理整頓ができず忘れ物が大変多い。どこに何を置いたかわからなくなってしまう。衝動的に反抗したり悪口を言ったりするので、友達とのトラブルが多い。決まりやルールを守って行動ができないことがあるため、個別の支援が必要である。
B	<ul style="list-style-type: none"> 特に算数のつまずきが見られる。素直で学習意欲はあるが、一斉指導の中では指示が通らないことが多いため、個別や小集団で支援している。 学習面では音読が上手になり、漢字の読み書きも覚えが早くなってきたが、読解力の定着が難しい。算数では、指を使って繰り上がり繰り下がりのある計算をしているが、最後まであきらめずに、ていねいにかけ算やわり算に取り組めるようになった。 生活面では、何事も自分から行動することは苦手で、友達のあとについて行動することが多い。

5 学習計画（3時間扱い）

時 間	第 1 時	第 2 時 (本時)	第 3 時	継続観察指導
活 動 内 容	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、学習内容の確認をする。 簡単な会話の練習をする。 「ラッキーコインゲーム」をする。 「ボディわなげ」をする。 			

6 本時の学習

(1) 目標

A	・相手の状況をよく見て落ち着いて指示を出したり、指示を最後までよく聞いたりして、協力してゲームに取り組むことができる。
B	・相手の状況に合った指示をはっきりとした言葉遣いで話したり、指示に対して言葉で反応を示したりして、協力して取り組むことができる。

(2) 準備・資料

学習がんばりカード、方向を示すカード、案内のポイント例、アイマスク、コイン、トランポリン、柔らかいフープ

(3) 展開

◎は個別に応じる配慮

☆は一手間一工夫

学習活動・内容	支援・評価
<p>1はじめのあいさつをする。</p> <p>2簡単な会話の練習をする。</p> <p>3本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>伝えるって楽しいな！</p> <p>(1) ラッキーコインゲーム</p> <p>(2) ボディわなげ</p> </div> <p>4「ラッキーコインゲーム」をする。</p> <p>(1) 役割を決め、準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を決め、コインやアイマスクの準備をする。 ・案内される係は、はだしになる。 <p>(2) 「ラッキーコインゲーム」をスタートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート位置は、案内される側が決める。 ・3分間でいくつ踏んだかで1つ6点として計算をする。 <p>(3) お互いの感想を発表する。</p> <p>5「ボディわなげ」をする。</p> <p>(1) 役割を決め、トランポリンとフープの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け取る役は、上履きを抜いでトランポリンに乗る。 <p>(2) 「ボディわなげ」をスタートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げる役は、<左か右か><体のどの部位か>を投げる前に言ってから投げる。 ・小さい輪は8点、大きい輪は7点として計算する。 <p>(3) お互いの感想を発表する。</p> <p>6本時のまとめと終わりのあいさつをする。</p> <p>(1) ワークシートに感想を記入し発表する。</p> <p>(2) ありがとうカードを書き、発表する。</p> <p>(3) 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正しくし、視線が合ってから元気にあいさつができるように励ます。 ・用意した質問カードを回しながら、それについての簡単な会話の練習をし、緊張状態を緩和する。 <p>・学習の見通しがもてるよう学習内容と時間の確認をする。 ◎個々のめあてを一人一人声に出して確認させ、意欲付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人が、協力して楽しく活動ができるように励ます。 <p>・案内役は、案内される役がアイマスクをしてから、コインを10枚程度並べる。間隔の取り方は、教師と一緒に支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をきちんと行い、お互いを気遣いながら二人で協力してゴールを目指そうという意識をもたせる。 <p>◎A児が案内される役となった時は、勝手に動いたりアイマスクを外したりしないように励ます。</p> <p>◎言葉が不明瞭な時は、ゆっくりと短く切って話すようにアドバイスをする。</p> <p>☆「まっすぐ3歩」「右へ2歩」などの指示がうまくできるように位置や方向を正しく説明するために「道案内のポイント」となる言い方を提示しておく。また、ドラエモン人形の手に左右の印を付けて確認しながらできるようにする。</p> <p>◎お互いの様子が見えないため、「次を説明してもいいですか」「わかりました」「もう一度言ってください」など、やりとりのキーワードとなる言葉を掲示しておき、言葉によるコミュニケーションを大切にしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得点は6の段のかけ算で求められることに気付かせる。 <p>・二人で相談しながら、投げる役と受け取る役を決め、トランポリンやフープの準備も協力して行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け取るときには、トランポリンから落ちないように気をつけて取ることを注意しておく。 ・「右手」「頭」などの指示がうまくできるように左右の位置を示しておく。 <p>◎投げる役はわかりやすく伝える、そして受け取る役は指示をよく聞くというように、協力しないとうまくいかないことを意識させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得点は7と8の段のかけ算で求められることに気付かせる。 <p>◎A：相手の状況をよく見て落ち着いて指示を出したり、指示を最後までよく聞いたりして、協力してゲームに取り組むことができたか。（観察、感想発表） B：相手の状況に合った指示をはっきりとした言葉遣いで話したり、指示に対して言葉で反応を示したりして、協力して取り組むことができたか。（観察、感想発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、がんばった所を一人一人に具体的に話をして十分に認め賞賛し、シールを貼らせたい。 ・友達のよかつたところやがんばったところを認め、ありがとうカードに書き、認められることの喜びを味わわせたい。 ・視線を合わせ、落ち着いてあいさつをする。